

(様式第2) 社会資本総合整備計画（地域住宅支援） 事後評価書

平成29年3月28日

Table with 2 columns: 計画の名称 (安心・安全なまちづくりと多種多様なニーズに対応した住環境の構築) and 計画の期間 (平成23年度～平成27年度(5年間)). Includes 計画の目標 and 計画の成果目標 (定量的指標).

Table with 2 columns: 定量的指標の定義及び算定式 and 定量的指標の現況値及び目標値. Includes 備考 column.

Table with 2 columns: 定量的指標の定義及び算定式 and 定量的指標の現況値及び目標値. Includes 備考 column.

事後評価 (中間評価)

Table with 2 columns: 事後評価 (中間評価) の実施体制, 実施時期 and 事後評価 (中間評価) の実施時期, 事後評価: 平成28年度, 公表の方法, 多賀城市ホームページに掲載.

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

Table A: 基幹事業. Columns include 番号, 事業種別, 地域種別, 交付対象, 直接/間接, 事業者, 要素となる事業名, 事業内容・規模等, 事業実施期間 (年度), 全体事業費 (百万円), 備考.

Table B: 関連社会資本整備事業. Columns include 番号, 事業種別, 地域種別, 交付対象, 直接/間接, 事業者, 省略工種, 要素となる事業名, 事業内容, 市町村名, 事業実施期間 (年度), 全体事業費 (百万円), 備考.

Table with 2 columns: 番号 and 一体的に実施することにより期待される効果. Includes 備考 column.

Table C: 効果促進事業. Columns include 番号, 事業種別, 地域種別, 交付対象, 直接/間接, 事業者, 省略工種, 要素となる事業名, 事業内容, 市町村名, 事業実施期間 (年度), 全体事業費 (百万円), 備考.

Table with 2 columns: 番号 and 一体的に実施することにより期待される効果. Includes 備考 column.

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況						
<p>I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 多賀城駅周辺整備事業の計画的な実施により、市街地の集客力の向上、都市機能の充実が図られた。 耐震改修関連事業の実施により、耐震化率が向上した。 狭あい道路の拡幅等事業が進んだが、目標とする狭あい道路が解消される割合には至らなかった。 市が実施したまちづくりアンケート調査における「市の歴史と文化に誇りを感じている市民割合」は、目標達成には至らなかったが、歴史的風致形成建造物を指定し保存のための補助金を交付し、また、塩竈街道の歴史を伝える説明板を6基整備する事業を通じて、多賀城の歴史・景観に配慮した街なみの形成を図った。 						
II 定量的指標の達成状況	指標①（多賀城駅周辺における歩行者通行者数を15,373人から17,000人に増加。）	最終目標値	17,000人	目標値と実績値に差が出た要因	多賀城駅北地区第一種市街地再開発事業により市立図書館や子育てサポートセンターなどの施設が整備され、さまざまな年代の人々が集うことのできる場が出来たことにより来街者が増え、目標を上回る結果になった。	
		最終実績値	22,805人			
	指標②（耐震性が確保されている民間木造住宅の割合を66.8%から90.0%に増加。）	最終目標値	90.0%	目標値と実績値に差が出た要因		
		最終実績値	91.8%			
	指標③（狭あい道路が解消される割合を26.3%から27.7%に増加。）	最終目標値	27.7%	目標値と実績値に差が出た要因		狭あい道路の整備は進んでいるが、用地交渉等に時間を要し、目標達成には至らなかった。今後、狭あい道路整備等促進事業が計画的に進捗し、完了することにより、狭あい道路の整備が見込めるため、狭あい道路が解消される割合は増加することが期待される。
		最終実績値	27.1%			
	指標④（市の歴史と文化に誇りを感じている市民割合を54.0%から60.0%に増加。）	最終目標値	60.0%	目標値と実績値に差が出た要因		
		最終実績値	54.4%			
	指標⑤（多賀城駅周辺の店舗・病院・診療所・公共施設（駅を除く）を月1回以上利用している市民割合を46.7%から75.0%に増加。）	最終目標値	75.0%	目標値と実績値に差が出た要因		
		最終実績値	56.5%			
<p>III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)</p> <ul style="list-style-type: none"> 市が実施したまちづくりアンケート調査で、「行政の災害に対する備えが整っている」という問いに「そう思う、どちらかといえばそう思う」と回答された割合が、平成21年度調査と平成27年度実施の調査結果で12.6%増加しており、狭あい道路の整備などにより、安心・安全なまちづくりに関する満足度が得られている。(53.0%→65.6%) 市が実施したまちづくりアンケート調査で、「駅や駅前広場の利便性(送迎、乗り換えのスムーズさなど)についての満足度」に対して、「満足、どちらかといえば満足」と回答された割合が、平成21年度調査と平成27年度実施の調査結果で9.0%増加しており、史都多賀城中心拠点地区都市再生整備計画事業により、駅周辺の都市機能の充実等に関する満足度が得られている。(13.3%→22.3%) 史都多賀城中心拠点地区都市再生整備計画事業により、駅周辺の都市機能の充実等に関する満足度が得られており、観光入込客数が増加している。(H21年:705,713人→H26年:790,779人) 平成23年12月6日に歴史的風致維持向上計画の認定を受け、歴史的風致を向上させる施策の展開が進んでいる。 市内の保存対象の68棟の歴史的建造物を保存していくための築年、構造、状態等に関する調査が完了し、歴史的風致形成建造物の指定のための基礎資料が完成した。 平成27年4月に景観計画を策定し、歴史的風致を形成する建造物が存在する地域において建造物等と調和した市街地を形成するため、建築物の形態・色彩・外構などの規制を市民と協働で検討し、実施できた。計画策定段階において、景観まちづくり意見交換会(平成25年に3回実施)、景観計画関係団体等意見交換会(平成25年に1回)を通じて、市民と協働で検討をしている。 平成26年10月6日に多賀城市内の「壺碑(つぼの石ぶみ)」「興井」「末の松山」が名勝に指定され、周辺地域と一体となった景観の保全、観光振興・まちづくりなどへの活用のため、『「壺碑(つぼの石ぶみ)、興井、末の松山」保存活用計画』が策定され、これら地域の保存・活用が進み、平成28年4月25日にこれら文化財を含むストーリー「政宗が育んだ”伊達な”文化」が日本遺産に認定された。 						
3. 特記事項(今後の方針等)						
<ul style="list-style-type: none"> ○駅周辺の利便性を一層高めるため、民間事業者と連携し、中心市街地の活性化を図る。 ○狭あい道路のより一層の整備を図るため、狭あい道路整備等促進事業を継続的に実施する。 ○塩竈街道沿いの市川・南宮地区の沿道や、沖の井周辺の八幡地区の歴史的風致の維持・向上を図るため、街なみ環境整備事業を継続的に実施する。 ○「壺碑(つぼの石ぶみ)、興井、末の松山」保存活用計画に基づく保存・活用のための整備を実施する。(街なみ環境整備事業(水路整備、案内板設置等)) ○景観計画において景観重点区域に指定されている多賀城中央地区において、地域のデザインコンセプトである『「多彩な文化があふれる、「東北随一の文化交流拠点」にふさわしい景観づくりのため、街なみ環境整備事業を実施する。』 ○多賀城の歴史・景観に配慮した街なみの形成などのため、歴史的風致維持向上計画に基づく施策を展開する。 ○景観に配慮した良好な住環境を形成するため、住宅外構部での生け垣設置の助成を継続する。 						